

令和6年度決算についてお知らせします

*** まちの財政状況の健康診断 ***

決算は、4月から翌年3月までに町のお金がどのように使われたかをまとめたものです。
令和6年度決算の町の財政状況についてお知らせします。

※決算のくわしい内容は、町ホームページをご覧ください。

※四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

☎ 財政管財課 TEL 0178-56-4278



point ①

まちのお金の出入り(決算額)を見てみましょう

●一般会計の決算額

一般会計は、町税や国からの地方交付税の収入をもとに、福祉・教育・道路整備などの、生活につながるのある行政サービスを行う会計です。

一般会計の決算収支は、歳入歳出のいずれも前年度より増加しました。物価高騰等の影響によって扶助費、補助費等、物件費といった経常的な経費が増加したこと、普通建設事業費が増加したことが主な要因です。

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
一般会計	134億 245万円	130億2,802万円	+3億7,443万円

●特別会計の決算額

特別会計は、特定の目的の事業を行う会計で、一般会計とは区別しています。

4つある特別会計の決算収支は、歳入で前年度比1億6,693万円の増、歳出で前年度比2億2,964万円の増となりました。

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
特別会計	国民健康保険	23億8,629万円	23億7,687万円	+ 942万円
	奨学資金貸付事業	1,369万円	1,326万円	+ 43万円
	介護保険	24億3,967万円	23億 296万円	+ 1 億3,671万円
	後期高齢者医療	3 億3,278万円	3 億2,332万円	+ 946万円
合 計		51億7,244万円	50億1,642万円	+ 1 億5,602万円

●公営企業会計の決算額

企業会計は、民間企業のように利用料などにより事業を行う会計です。町には病院事業会計と下水道事業会計があります。令和5年度まで特別会計だった公共下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計が、令和6年度からは下水道事業会計として公営企業会計に移行しました。

病院事業会計の収益的収支決算は、収入支出とも前年度に比べ増加しました。資本的収支決算の不足分は、病院事業会計、下水道事業会計のいずれも損益勘定留保資金等で補填しました。

会 計 名		収 入	支 出	差 引 額
病 院 事 業	収益の収支	10億 385万円	10億6,749万円	△6,364万円
	資本の収支	4,631万円	7,623万円	△2,992万円
下水道事業	収益の収支	9億1,449万円	7億6,453万円	1億4,996万円
	資本の収支	6億4,889万円	8億1,665万円	△1億6,776万円

※消費税込の決算額を掲載しています。



point ②

一般会計の内訳を見てみましょう

町 債

8億8,373万円(6.6%)

国や銀行から借りるお金

地方譲与税等

9億9,703万円
(7.4%)

地方消費税など国や
県が集めた税金から
配分されるお金

国・県支出金
39億756万円
(29.1%)

使い道を特定して、国や
県から交付されるお金

依存財源

97億3,822万円
(72.5%)

消防費

6億1,749万円(4.7%)

八戸地域広域市町村圏事務組合への消防費負担金、
消防団の報酬や施設管理、災害対策などに使うお金

衛生費

9億1,370万円(7.0%)

予防接種・健康診査、ごみ処理な
どに使うお金

公債費

9億4,027万円(7.2%)

町が借りているお金を返すために
使うお金

土木費

17億240万円(13.1%)

道路の整備、除雪、公園の管理など
に使うお金

自主財源

36億6,423万円(27.5%)

町 税
27億1,999万円
(20.3%)

町民の皆さまから 納めていただいた 町税の内訳

町たばこ税
2億3,646万円
(8.7%)

町民税
11億4,045万円
(41.9%)

軽自動車税
9,848万円
(3.6%)

固定資産税
12億4,460万円
(45.8%)

繰入金

5億484万円(3.8%)

町の基金を取り崩して使うお金

その他

4億3,939万円(3.3%)

施設の使用料、財産収入や寄附
金などの諸収入

歳入総額

134億245万円

地方交付税

39億4,991万円(29.5%)

使い道を特定せず、自治体の財政状
況により国から交付されるお金

農林水産業費

2億4,827万円(1.9%)

農業・林業・水産業の振興などに使うお金

その他

2億437万円(1.7%)

議会費、商工費、労働費

民生費

45億5,233万円
(34.9%)

高齢者や障がい
者の福祉、子育て
支援などに使
うお金

教育費

20億989万円
(15.4%)

学校教育や小中学校の管理、
スポーツ・文化の社会教育に
使うお金

歳出総額

130億2,802万円
(目的別)

総務費

18億3,930万円
(14.1%)

職員給与、広報、情報政策、交通
安全対策など町の運営に使うお金

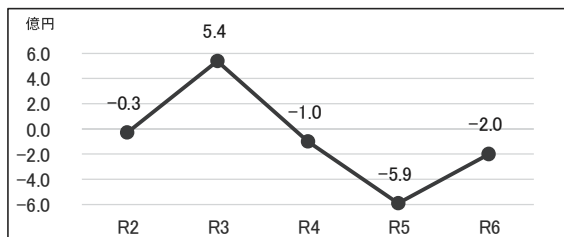


point ③

財政指標から見るまちの財布

財政指標は、決算数値から町の財政状況を測る「ものさし」のようなものです。どのような観点から財政状況を測るかによって、様々な指標があります。

●町の1年間の収支(実質単年度収支)

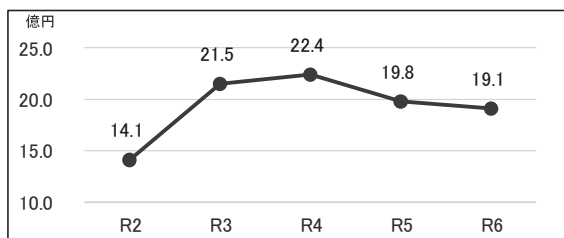


実質単年度収支は、1年間での財政状況の実態を測る指標で、基金の取り崩しや積立金などの要素を取り除き、1年間の収支の状況を見る指標です。

令和6年度は、3年ぶりの増加となりました。



●町の貯金残高(財政調整基金残高)

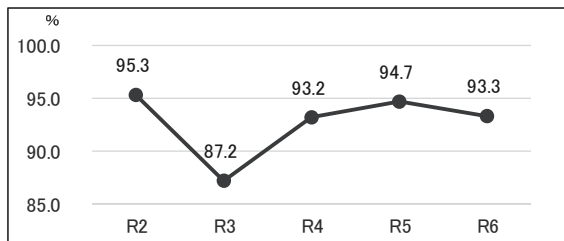


財政調整基金は、年度間の収支不均衡を埋めるための基金であり、よく貯金に例えられます。

令和6年度は、昨年に引き続き減少となりました。



●町の財布の余裕度(経常収支比率)

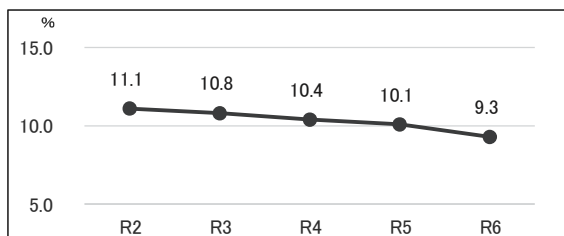


経常収支比率は、経常的な収入を経常的な経費に充てた割合を表す指標です。この割合が高いほど、急な出費にお金を回す余裕がないことを示します。

令和6年度は、昨年より減少となりました。



●町の借金返済の負担度(実質公債費比率)

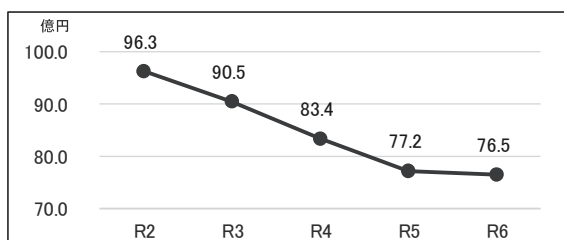


実質公債費比率は、借入金返済の負担の大きさを示す指標です。この比率が高いほど借入金返済が財政を圧迫していることを示しています。

令和6年度は9.3%となり、4年連続で減少しています。



●町の借金残高(町債現在高)



町債は、町が資金調達のために負担する借入金のことです。この残高が大きくなると、将来負担すべき債務が増加していることを表します。

令和6年度は76.5億円となり、7年連続で減少しています。

